

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C	令和5年(2023年)6月21日
横断的な課題	1 移住に結びつく人と知の流れの創出と地消地産や産業振興による地域の活性化					
地域重点政策	2 産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興					上田地域振興局
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	林務課(普及林産係)
事業名	にぎやかな森プロジェクト				電話	0268-25-7138(直通)
					E-mail	uedachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業	目的 (目指す姿)	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、下記項目の調査研究・評価によりデータの見える化を図るとともに、地域林業経営者等へ成果を普及啓発する。				
	現状と課題	東信カラマツの需要が高まる中、主伐・再造林など持続的な森林経営にどう繋ぐかが課題。このような状況を踏まえると、地域林業の長期的課題に改めて向き合い、地域で連携して課題解決に向けてひとつひとつ実践し、成果に関する社会的な認知を高めることが必要。折しも、脱炭素や気候変動への対応など、森林に対する社会的ニーズや機運が高まっている状況から、森林の新たな付加価値の創出も含め、幅広く調査研究に取り組むことが必要。令和3年度は、管内認証森林 9,500haのCO2吸収ポテンシャル評価調査とカラマツ林伐採跡地の天然更新可能性調査等を実施しその成果を関係者に向け報告会を開催した。令和4年度は、企業等協力者を増やしつつ、個別課題解決に向けた調査研究に取り組む。				
概要	内容 (変更後の内容)	<p>下記内容に関する調査研究活動を実施し、単年度の成果を取りまとめる。</p> <p>① 林業活動が生物多様性にもたらす効果の調査・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容… 管内認証森林の伐採・植栽地の動植物相(種数など)の変化を調査 ・現状と課題… 森林の新たな付加価値の創出 ・成果の活用… 林業活動による生物多様性保全への貢献度の見える化 生物多様性見える化の取組をPR、企業のCSR・CSV投資を呼び込み <p>② 森林のCO2吸収評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容… R3年度施業実施森林におけるCO2固定量の評価を4市町村で実施 ・現状と課題… 森林の新たな付加価値の創出 ・成果の活用… 森林管理によるCO2吸収量見える化と、成果のPRにより、企業のCSRやCSV投資を呼び込む契機とする。 <p>③ カラマツ丸太木材強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容… 森林ごと斜面方向など生育条件別に丸太強度試験を実施 ・現状と課題… カラマツの新たな付加価値の創出 ・成果の活用… 木材強度を必要とする製品づくりにつながる施業技術の確立 山側における丸太素材の高付加価値化 <p>④ カラマツ天然更新可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容… 伐採跡地における実生による天然更新や成林に関する調査 ・現状と課題… 長期的課題への対応 ・成果の活用… 天然更新による再造林コストや労働力低減 持続的な森林経営手法の模索 <p>⑤ 調査研究活動の事例調査、報告会開催、報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容… 他地域における事例等調査及び調査研究成果を地域林業経営者や社会貢献に興味のある企業等へ普及啓発を行う報告会の開催等 ・現状と課題… 長期的課題への対応 ・成果の活用… 調査研究成果に関する社会的認知の向上 				
	事業期間	令和4年(2022年) 4月 ~ 令和5年(2023年) 3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	① 生物多様性評価	生物多様性効果の見える化	595,702	調査費577,800円、資材費17,902円		
	② 森林のCO2吸収評価	CO2吸収量見える化	186,100	調査費186,100円		
	③ カラマツ丸太強度試験	伐採現場での強度試験	143,100	調査費143,100円		
	④ 天然更新可能性調査	労働力低減等の検討	33,080	調査費12,400円、資材費20,680円		
⑤ 事例調査・報告会	関係者への普及啓発	38,400	謝金38,400円			
合計			996,382			

達成指標 状況及び 況び	成果指標	目標値	成果	達成状況
	成果の普及啓発先 (研究会等への参加、連携先の団体・企業数 R3…42者)	50者	48者	○ 達成 ○ 一部達成 ● 未達成
事業 成果 実績	<p>①調査研究活動の成果に関する勉強会・報告会を開催し、地域の企業や関係団体に普及啓発できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林CO2吸収評価勉強会（R4.9.12開催） 13者（28名） ・調査研究報告会（R5.3.15 リアル&WEB開催） 29者（66名） <p>②啓発・PR活動を通じ、趣旨に賛同する企業10社と森林の里親協定を締結した。（締結式3回開催）</p>			
今後の方向性	<p>森林の里親企業は、前年度を大きく上回る10社と協定を締結することが出来た。協定企業や連携団体には勉強会や報告会に加え調査への参加を促し、プロジェクトのさらなる活性化を図る。</p>			